



# WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.54 April 10, 2016

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
  2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
  3. ジョークは簡潔が至上です。



## 第54回研究発表会

### 米大統領選の混迷とトランプ・ゲーム

代表 宮本 倫好



今は昔、ライシャワー元駐日米大使をボストン郊外の自宅に訪ねたことがあります。ちょうど大統領選の年で、大使は2年近くに及ぶ国を挙げての大騒ぎぶりになんか懐疑的で、「自民党総裁選の方が、時間もかけず常識的なところに落ち着くから、まだましだ」と言ったものです。大使も最終的には米国政治に信を置いているようでしたが、今度のトランプ騒動を見て、私も米国流民主主義の持つ「危うさ」を感じます。良識派が「あれよ、あれよ」と思ううちに、「マサカ」が現実化しようとしているのです。

私たちの会はもちろんジョークを楽しむ集いですが、米国でこのトランプ現象が「ジョークになるかならないか、なるとすればどんな形か」を考えるために、まず今の状況に目をやってみようと思います。

1960年代から70年代に私は米国にいましたが、非白人、女性、異教徒など少数者の人権拡大が画期的に進みました。その延長線上に黒人大統領が誕生し、さらに性的異質者(LGBT)にまで解放の波は及びました。私は米国流民主主義の偉大な業績とってきたのですが、実はこれを面白く思っていない層に、その恨みが深く沈潜していたのです。すなわち、キリスト教白人労働者階級中心の人々です。

彼らは本来、自主性尊重論者で、大資本の横

暴、連邦政府の過剰介入を不快に思っていたところへ、グローバル経済の浸透で、新興国への雇用流出、格差拡大などが起こりました。同時に、中国の台頭、中東混乱の收拾不能、テロリストの横行が現実化しました。これは米国の相対的地位低下の原因であり、結果です。併せて移民の増加は、伝統のWASP的価値観の崩壊を早めました。

人間はしょせん嫉妬の動物ですから、他人が良くなるのは面白くない。特に自分の犠牲においてそうだと、思われると、無性に腹が立つ。そこへ勇ましいトランプが「みんな、怒っていいんだぞ！」と相手を名指しで非難してくれると、喝采を送りたくなる。特にその人が、自分の手の届かない大金持ちながら、全部自力で稼いで、大資本の寄付なんかまったく当てにしていなるとなると、「本当に自分の陣営だ」と思いたい。さらに、インターネットやソーシャルメディアの普及という新現象もあります。人々は既成メディアの権威にハナも引っかけず、自分の考えに合うものだけを読む。大阪の橋下現象や、フーテンの寅さん、田中角栄人気に通じると言う人もあります。既存勢力や権威に盾突く姿勢に共感するのです。

実は米国では反知性(権威)の伝統が強かつ

た。無学ながらジャクソン流民主主義を確立したジャクソン大統領がその例です。レーガンだって三流役者上りと言われながら、死後も名大統領というシンパが非常に多い。

トランプの場合、英エコノミスト誌によれば、「共和党にとって、衝突は分かっているながらブレキが踏めなかった運転手」という状況で、今後の大波乱は避けられそうにないでしょう。

この状況下で、ニューヨークに住むユダヤ系の友人に「面白いジョークを」と聞いたところ、「ジョークどころじゃない深刻事態だ」という返事でした。そうかも知れないけど、そこは米国人、いろいろ探して見つけたものを幾つか紹介します。

**Trump: "It's not a toupee. I just found the Bush that Jeb lost."**

(トランプ・ジョークの一つの型は、かつらをからかったものです。このタイプのジョークは本来邪道ですが、他人にめちゃくちゃ言うトランプだけに、低次元でからかわれても仕方がない? Jeb はブッシュ家から立候補し、主流派に期待されたのに、トランプの好餌になり、あえなく敗退。ここでの Bush は「Bush 家」と「茂みのようなもじゃもじゃの頭髪」をかけていて面白い)

**What airline does Donald Trump aspire to fly? Hair Force One!**

**Donald Trump wants to control the country even though he can't control his hair.**

(これらも大阪漫才レベルですが、笑いは確実に取れそうです)

A woman went up to Donald Trump after the debate and told him, "I'd rather vote for the devil than vote for you!" Then Donald asked her, "But what if Hillary doesn't win

her primary?"

(これはトランプ自身の発言か、誰かの作か不明。両者が混然となって、jokedom の人口に膾炙しているのが現状です。トランプ自身もなかなか頭がよく、とっさに気の利いた応答をする方なので、これが彼自身の口から出たものであってもおかしくない。ここでは Hillary を巧みに悪魔にすり替えているところが見事です)

**Donald Trump is like a country song, except played in reverse. Once he's elected, you'll get your job back, your pickup truck back, your house back, and your country back.**

(彼の訴えはナツメロを少し歌詞を変えて歌っているようなものですが、昔に戻ればそれでいいのか、というのが、実はトランプ問題の深刻なところ)

**In Dallas Trump showcased his wine label. Obama joked, "Has anybody bought that wine? I want to know what that wine tastes like. You know that's like some \$5 wine. They slap a label on it and charge you \$50, saying this is the greatest wine ever."**

(これはオバマの口から出た批判。ジョークで見事にトランプ現象を皮肉っています)

**Elton John said at Trump's rally, "You get the biggest crowds in the world for a guy without a guitar."**

(これも見方では、褒め言葉とも皮肉ともとれます。後者じゃないと面白くないですね)

「トランプ大統領の百日」という記事もあります。長いので希望者はメールを下さい。





## 第30回ジョーク・コンテスト

### MCの記

深澤 満穂

今回の特色は女性の参加者が7人と増えたこと。発足当初は存ぜぬが最近では極大値。小生のようなMCは、先ず原稿を頂いた時点でわからぬものが幾つかあり、又当日色々参加者のコメントを頂いてもまだ少しあやふやなのが残ったりする。だからMCの記などといわれると至って難物であり、正直のところ果して責務を全うできるのかうろろしてしまう。それでもわかりやすいところから始めよう。

第一位の三田さんは当会では初めて、あるいはごく最近のご参加かと思うが、第一位は御立派、おめでとうと申し上げたい。連なるアルファベットの最後が“I'm just kidding!”で締まった。アルファベットが出たついで、お笑いまでに筆者が“Hijklmno”なる新しい単語をご紹介した。この解説は不要と存ずるが「水」のことである。

第二位は植田さんの作。Paintには化粧品という意味があるらしい。Preserveすれば長寿に通ずるのは当然だな。

第三位は豊田さんの作。主語が医者でなかったら「飛んでもねえ野郎」ということになりそう。昔大学病院の婦人科で非常に美しく、立派な胸の持主が来られた。担当の医師はあまりの芸術作品に打たれて、別の科の仲間の医師に電話した。「おい、すげーボインが見えた、おまけに別嬪ときている。機会を逃すな、すぐ見に来い」。二人はその昔共にドイツへの留学生であったから、会話は当然ドイツ語であった。呼ばれた医師も十分な目の保養をしたという。これ

は実話であったと聞く。しかし「医者職務を全うしようと心がけていたら、そんなことには関心が向かない」が本音であろう。

後は筆者がコメントできる範囲で、7番の小池さんの作品。ドーベルマンという犬は獰猛らしい。筆者は識別できない。アメリカでは男女が結婚すると、婿さんと嫁さんのお母さんの仲が悪くなることが多いそうだ。この二つを知らないとこのjokeはわかりにくい。

同じ系統のjokeでこういうのがあった。

「葬式があり家の前に行列ができた。ここのおばあ様が犬にかみつかれて亡くなったそうだ。この行列は亡くなった方のお焼香ではなく、噛みついた犬を欲しがると人の列だそうだ」。

10番の村井さんのComputerの話。Ctrl, Alt, Deleteの3つのkeyを同時に押すと、入って居るdata全部がぶっ飛ぶそうだ。こんな話は初めて知った。いつもPCで難儀している新米に、こんなに怖い話を教えて下さるな。いつやるかわからない。

佐川さんにはよく見つけられますねと言いたいほど、jokeの中身にふさわしい絵か写真が紹介される。いつも感心してしまうが、陰では大変ご苦労されているのだと思う。No.3の同氏の作品、写真、つまりimageが本当の赤ちゃんよりかわいい、という本末転倒の結論になってしまった」ということらしい。だから我々普通の会話でも「何ちゃんは写真うつりが良いねえ」という言葉は褒め言葉になっていないことに気がつかないことがある。

今回もレベルが高く、MCの機転がきかず可笑しさのpointが未消化のまま終わった例が幾つかあった。もっと作者も含めて議論を展開させるような配慮をすべきだったと、反省しきりである。お詫びと致したい。❖ ❖ ❖ ❖



## 英語のジョーク超入門講座

### 第 6 回

## One-liners

豊田 一男

**One-liner** はウィット・ユーモアに富むふつう 1 文の寸言を言います。

**A wallflower is a girl who comes home wearing the same lipstick she started out with.**

(壁の花とは出かけた時と同じ口紅で帰宅する女性である。)

「壁の花」はダンスを申し込んでくれる相手がいないために壁際に座っている女性。何事もなく帰宅と相成る。

**To wear a bikini a girl must have the figure or the nerve.**

(ビキニを着るには女の子はすばらしい体型か、ずうずうしさのいずれかを持っていなければならない。)

**If you lend a friend five dollars and never see him again it was worth it.**

(友達に 5 ドル貸して二度と会うことがなければ、それはその価値があったということだ。)

**Nothing improves a man's driving like a sudden discovery that his license has expired.**

(免許が切れているのを突然知るくらい運転を改善することはない。)

免許の期限切れでの運転の罰は重い。安全運転するしかない。

**A dictionary is the only place where divorce comes before marriage.**

(辞書は離婚が結婚の先に来る唯一の場所だ。)

辞書の中では **D**ivorce の方が **M**arriage より前に来る。

**If you steal from one author, it's plagiarism; if you steal from many, it's research. (Wilson Mizner)**

(一人の著者から盗むと剽窃、多くの著者から盗むと研究。)

こんな研究が横行しているらしい。Wilson Mizner (1876-1933) はアメリカの劇作家。**One-liner** を数多く残している。

**An important business executive will always talk golf at the office and business on the golf course.**

(会社の重役はいつも仕事場でゴルフの話、ゴルフ場で仕事の話をするものだ。)

政治家もそうかもしれない。

**A fine is a tax you pay for doing wrong and a tax is a fine you pay for doing all right.**

(罰金は悪いことをしたために課される税金、税金は正しいことをしたために課される罰金。)

**Before retiring, take a week off and watch daytime television.**

(退職前に 1 週間休暇を取って昼間のテレビを見なさい。)

いかに退屈か分かるでしょう。ジョークで頭を鍛えボケを防ぎましょう。

**Medical science says that whiskey can't cure the common cold, but neither can medical science.**

(医学はウイスキーでは普通の風邪を治せないというのが医学も同様だ。)

医学は多くの病気の特効薬を開発したのに、未だに風邪の特効薬を見つけていません。❖

**どうぞよろしく** =新入会員ご紹介=

**田中洋一郎** (たなか・よういちろう) さん  
(千葉県稲毛区)

1. 私にとってのジョークとは：  
コミュニケーションの極意です、是非身につけたい。
2. 私の好きなジョーク：  
すぐには思いつかないので好きな写真を添付します。



**田上悦子** (たがみ・えつこ) さん  
(東京都品川区)

1. 私にとってジョークとは：  
Life without Joke is Life without Tea.  
人生を豊かにしてくれるもの
2. 私の好きなジョーク  
Time may be a great healer,  
but it's also a lousy beautician.

**新刊** 宮本倫好 著

『(続)山河遙かなり』(水産社) 1,000 円(税込み)

新聞社の海外特派員や大学教授などの経歴を持ち、エッセイストとしても著名な rinco 先生の、シリーズ第四作。「自分史」のお手本としても読めますが、社会に出ようとする若者の実用ガイドとしても使える痛快な書。とにかく笑わせます。



ご注文は [rinco21@jcom.home.ne.jp](mailto:rinco21@jcom.home.ne.jp) まで。  
ただちに発送します。お支払いは五月の JLC 研究発表会の場でどうぞ。

(S)

**第 55 回研究発表会のご案内**

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時：**2016 年 5 月 21 日 (土)**  
**14:00~16:00**
- 会場：**日本近代文学館** (2 階会議室)  
(東京都目黒区駒場 4-3-55、駒場公園内)  
電話：03-3468-4181
- 交通：京王井の頭線「駒場東大前」駅 (渋谷駅から二つ目) 下車徒歩約 7 分。地図は、「日本近代文学館」の HP でご検索ください。
- プログラム  
総合司会 = 豊田一男会員

① 研究発表

「科学技術の進歩にまつわるエピソード  
—その 5」服部陽一会員

(第 54 回研究発表会でご発表の予定でしたが、ご病気のため延期いたしました。)

② 第 31 回ジョーク・コンテスト

「THE BEST OF THE BESTS」

MC=安藤雅彦会員

(過去の各回のコンテストにおいて、第一位に選ばれたジョーク 20 題を再度鑑賞し、その中から究極の第一位を選出します。したがって、今回は出題品の募集はなしです。)

★終了後、東大駒場正門横のバラ園を探訪し、キャンパス内のカフェでくつろぎます。

参加費：会員・非会員とも 1,000 円

連絡先：[jlcweb-renraku@eigojoker.com](mailto:jlcweb-renraku@eigojoker.com)

**WE, JOKERS No.54**

**英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報**

発行日：2016 年 4 月 10 日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

連絡先：[jlcweb-renraku@eigojoker.com](mailto:jlcweb-renraku@eigojoker.com)

